九州大学広報室 〒819-0395 福岡市西区元岡 744 TEL:092-802-2130 FAX:092-802-2139 Mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp URL:http://www.kyushu-u.ac.jp

#### **PRESS RELEASE** (2021/02/24)

## 第1回 環境に配慮した持続可能な建設技術に関する 国際シンポジウム (CREST 2020) を実施

2021 年 3 月 9 日(火)~11 日(木)、本シンポジウムをオンラインで開催します。 ※令和 2 年(2020 年)3 月 10 日(火)~12 日(木)にかけて九州大学伊都キャンパスの椎木講 堂で開催する予定でしたが、新型コロナの影響で延期したものです。

- 【日 時】令和3年(2021年)3月9日(火)~11日(木)
- 【会 場】九州大学 伊都キャンパス Zoom を利用したオンライン配信 配信拠点:センター2 号館
- 【主 催】九州大学
- 【共 催】ケンブリッジ大学、国際地盤工学会 ATC1、国際地盤工学会 TC302
- 【後 援】国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市、在日インド大使館、国連ハビタット 福岡本 部、国際圧入学会、茨城大学 GLEC、地盤工学会九州支部、日本建設業連合会
- 【協 賛】日本基礎技術株式会社、JAFEC USA Inc ほか 57 の企業・団体
- 【言 語】英語(3月11日は日本語(一部同時通訳))
- 【詳 細】フライヤー、ポスターおよびプログラムについては添付ファイルをご参照ください URL: <u>https://crest2020.com/</u>

【講演者】石原研而(東京大学名誉教授)、安原一哉(茨城大学名誉教授)、ブッディマ・インドラトナ (ウロンゴン大学教授)、チャールズ・ワン・ワイ・ン(香港科学技術大学教授、国際地盤工学会 会長)、東畑郁生(関東学院大学客員教授)、イルシャン・マシュー(インドネシアバンドン工科 大学教授)、ランミン・ワン(蘭州地震研究所教授)、スチュアート・ケネス・ヘイグ(ケンブリッ ジ大学博士)、島岡隆行(九州大学教授)、勝見武(京都大学教授)、辻健(九州大学教授)、他

#### 【達成目標】

本シンポジウムは、地盤工学的見地から持続可能な社会(国連の SDGs)を築くため英知を結集して、自然災害や人災に関する諸問題について、解決策を見いだすことを目的としています。世界中の研究者、技術者、政策立案者が集まり、持続可能な社会を構築するための政策手段、新たな技術の開発、地盤構造物の設計・施工・維持管理などについて議論します。環境問題に利害関係のある産業界や国・地方公共団体、大学・研究機関の連携によって、地球が直面している諸問題に対して革新的な提言が採択されることを期待します。





#### 【趣 旨】

過去数十年にわたって地球上で急激な開発行為が展開された結果、気候変動やオゾン層の破壊、大気汚染など様々なリスクが発生しています。また、旺盛な都市活動によって大量に資源が消費された結果、天然資源が枯渇してきています。そこで、近年では、各方面において環境に配慮した持続可能な社会の実現に向けた取組みが活発化してきています。地盤工学の分野においても、安価で、環境に優しい材料を再利用して、信頼性と強靭性に優れた設計・施工方法の開発が進んでいます。具体的には、CO2 排出量の削減や産業副産物の再利用に取り組んでいます。特に、環境負荷の少ない材料を再利用することは、建設に必要なエネルギーの軽減が図られるため、気候変動に対応する有効な手立ての1つとして注目されています。さらに、自然が持つ多機能性やしなやかな回復能力などが期待できるグリーンインフラを、町づくりに積極的に取り入れることが望まれています。

### 【シンポジウムテーマ】

部門 I: 地盤工学におけるカスケード利用及びマテリアルリサイクル

- ・低コスト及び低炭素の建設技術
- ・地盤構造物におけるリサイクル材料(代替地盤材料)
- ・リサイクル材料の力学的な性質および構成則
- 災害廃棄物の管理及び再利用

部門Ⅱ: 自然災害とレジリエンシー

- 気候変動に起因した自然災害
- ・気候変動に起因しない自然災害
- ・災害軽減技術に関する模型実験及び数値解析モデル
- ・情報技術(IoT. AI など)の活用による自然災害軽減対策

部門皿: 気候変動への適応と技術革新

- ・低カーボンフットプリントに向けた革新的な技術
- ・持続可能な設計及び施工の革新的な事例
- ・社会経済及び環境に配慮した持続可能な施工技術
- ・地質学的及び水文学的な観点

### 【プログラム】

日付	内容
3月9日(火) 9:00-18:45	<ul><li>・開会式</li><li>・基調講演、特別講演</li><li>・パラレルセッション</li></ul>
3月10日(水)8:35-18:20	<ul><li>・基調講演、特別講演</li><li>・パラレルセッション</li><li>・閉会式</li></ul>
3月11日(木) 13:00-16:15	ポストシンポジウムワークショップ 2011 年東日本大震災特別ワークショップ-震災から 10 年-

プログラムの詳細はこちら https://crest2020.com/index.php/program-schedule/

※別添の取材申込書にて事前にお申込み下さい。

<u>※メディアの方で取材される方は参加費無料となります、同様に別添の取材申込書にて事前にお申込み下さい。</u>

## 第1回 環境に配慮した持続可能な建設技術に関する国際シンポジウム (CREST 2020) 取材申込書

以下にご記入の上 FAX いただくか、本内容をメールにて3月5日正午までにご返信ください。

貴社名	
貴媒体名	
部署名	
ご芳名(フリガナ)	
日中ご連絡先(TEL)	
E-mail	

#### <お願い>

- (1) 当日、取材受付は12:15から13:00までセンター2号館2304号室にて行います。
- (2) 取材の位置等については、担当者の指示に従ってください。

#### <会場案内>

九州大学伊都キャンパス センター2 号館 〒819-0395 福岡市西区元岡 744

#### **<アクセス>**

JR「九大学研都市駅」→昭和バス→「伊都キャンパス」下車 詳細はこちら http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/

### <本件のお問い合わせ先>

CREST 2020 実行委員会委員長

ハザリカ ヘマンタ 教授 九州大学大学院工学研究院 防災地盤工学研究室(村山)

電話: 092-802-3369 Mail: hazarika@civil.kyushu-u.ac.jp 、m.murayama@civil.kyushu-u.ac.jp

# 第1回環境に配慮した持続可能な 建設技術に関する国際シンポジウム

1st INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON

7 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

8

**SUSTAINABLE** 

**DEVELOPMENT** 

**G**ALS

E Jud

CONSTRUCTION RESOURCES FOR ENVIRONMENTALLY SUSTAINABLE TECHNOLOGIES

**CREST 2020** 

# 基調講演/特別講演

Ms. Ester Calavia Garsaball, UK Dr. Stuart Kenneth Haigh, UK

Prof. Hemanta Hazarika, Japan

Prof. Manzul Kumar Hazarika, Thailand

Prof. Buddhima Indraratna, Australia

Prof. Kenji Ishihara, Japan

Prof. Sangseom Jeong, Korea

Prof. Takeshi Katsumi, Japan

Prof. Takaji Kokusho, Japan

Prof. Tatsuya Koumoto, Japan

Dr. Wei Feng Lee, Taiwan

Prof. San Shyan Lin, Taiwan

Prof. Irsyam Masyhur, Indonesia

Prof. Charles Wang - Wai Ng, Hong Kong

Dr. Rolando P. Orense, New Zealand

Prof. Takayuki Shimaoka, Japan

Prof. Devendra Narain Singh, India

Dr. Suttisak Soralump, Thailand

Prof. Yoshihisa Sugimura, Japan

Prof. Vikas Thakur, Norway

Prof. Ikuo Towhata, Japan

Prof. Takeshi Tsuji, Japan

Dr. Bui Trong Vinh, Vietnam

Prof. Lanmin Wang, China

Prof. Kazuya Yasuhara, Japan

# 若手研究者特別講演

Dr. Guojun Liu, China

Ms. Alena J. Raymond, USA

Dr. Tran Thi Thanh Thuy, Vietnam

# テーマ

# 部門 I: 地盤工学におけるカスケード利用及びマテリアルリサイクル

- 低コスト及び低炭素の建設技術
- ・地盤構造物におけるリサイクル材料(代替地盤材料)
- ・リサイクル材料の力学的な性質および構成則
- ・ 災害廃棄物の管理及び再利用

## 部門Ⅱ:自然災害とレジリエンシー

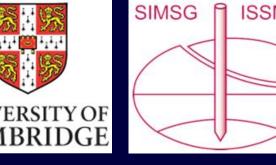
- 気候変動に起因した自然災害
- ・気候変動に起因しない自然災害
- ・災害軽減技術に関する模型実験及び数値解析モデル
- 情報技術(IoT, AI など)の活用による自然災害軽減対策

## 部門皿: 気候変動への適応と技術革新

- 低カーボンフットプリントに向けた革新的な技術
- 持続可能な設計及び施工の革新的な事例
- ・社会経済及び環境に配慮した持続可能な施工技術
- ・地質学的及び水文学的な観点















# 会場

九州大学 (ウェブ会議)

# 日程

2021年3月9-11日

九州大学

# 共催

ケンブリッジ大学 国際地盤工学会 ATC1 国際地盤工学会 TC302

後援

国土交通省 福岡県 福岡市 インド大使館 国連ハビタット福岡本部 国際圧入学会

地盤工学会 九州支部 茨城大学 地球 • 地域環境共創機構 一般社団法人日本建設業連合会

# 出版社





# お問い合わせ

Email: info@crest2020.com

Website:

www.crest2020.com













## 第1回環境に配慮した持続可能な建設技術に関する 国際シンポジウム (CREST 2020)

## プログラム

時間		2021年3月9日(火)			
9:00 – 9:45	開会式 (会場:ウェブコンサートホール) 開会の挨拶:  九州大学 総長 石橋 達朗  ケンブリッジ大学 教授 Prof. Gopal S. P. Madabhushi 国際地盤工学会 会長 Prof. Charles Wang-wai Ng 国土交通省 九州地方整備局 局長 村山 一弥 東京大学 名誉教授 石原 研而 国際圧入学会 前会長 日下部 治 CREST2020 実行委員長・九州大学 教授 ハザリカ ヘマンタ				
9:45 – 10:00		休憩、企業紹介	1 17,		
	プレナリー講演 & 基調講演 会場:ウェブコンサートホール		344		
	座長: 九州大学 教授 <b>安福 規之</b>		343		
10:00 – 10:30	PL1	アジアにおける気候変動に起因する地盤工学的課題:影響,評価そして対応 茨城大学 名誉教授 <b>安原 一哉</b>	六 が配信 レセッ , 3434,		
10:30 – 11:00	KN1	近年の豪雨と斜面の災害について私見 関東学院大学特任教授 <b>東畑 郁生</b>			
11:00 – 11:15		休憩、企業紹介	会 68.88		
	座長:名古屋工業大学教授 張鋒				
11:15 – 11:45	KN2	A Novel Waste-Cover-Waste Landfill System  Prof. Charles Wang-wai Ng (Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong)	رج ﷺ آپ کی کی این الم		
11:45 – 12:15	KN3	R Novel Waste-Cover-Waste Landfill System   Prof. Charles Wang-wai Ng (Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong)   持続的な土の管理に向けて — 自然由来の重金属等を含有する発生土の有効利用 京都大学 教授 勝見 武			
12:15 – 13:15		休憩、企業紹介	2		

	座長: 東京都市大学 教授 末政 直晃					3468
13:15 – 13:45	KN4	道路路盤材として有効利用された都市ごみ焼却灰の長期耐久性と溶出特性について 九州大学 教授 <b>島岡 隆行</b>				3467 34
13:45 – 14:15	KN5		Sustainable Transport Infrastructure Adopting Energy-Absorbing Waste Materials  Prof. Buddhima Indraratna (University of Technology Sydney, Australia)			1 56 34
14:15 – 14:45	KN6	細粒分を含む	緩い砂からなる緩勾配斜面の液状化流動砲 中央大学 名誉教授 <b>國生 剛</b> ?		2	л 2
14:45 – 15:00			休憩、企業紹介			777
	(ス 座長: I	ラレルセッション 1 ナンラインルーム 1) <b>Dr. Sanjay Kumar Shukla</b> owan University, Australia)	パラレルセッション 2 (オンラインルーム 2) 座長: 日本工営株式会社 <b>Dr. Kyu Tae Lee</b>	パラレルセッション 3 (オンラインルーム 3) 座長: <b>Dr. Anil Mishra</b> (Indian Institute of Technology Guwahati, India)	展示ンド配	ベラ <i>レル</i> セッ
		特別講演Ⅰ	特別講演 II	特別講演Ⅲ	4 V	
15:00 – 15:25		Biochar Amendment on the Resistance of Saturated Sand	石炭灰、製鋼所スラグ、ゴミ溶融炉スラ グなどの産業副産物を用いたジオポリマ ーの化学的・力学的性質について	Valorization of Bauxite Residues for Pavement Subgrade Construction	**	ママナ/ 7000cc
		. Rolando P. Orense iversity of Auckland, New Zealand)	佐賀大学 名誉教授 甲本 達也	<b>Prof. Devendra Narain Singh</b> (Indian Institute of Technology Bombay, India)	Ĥ	(\frac{1}{\text{\tin}\text{\texit{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tex{\tex
15:25 – 16:25	Paper IDs: 2	2186, 3105, 3106, 3400, 3473	Paper IDs: 3150, 3367, 3432, 3436, 3457	Paper IDs: 3226, 3345, 3412, 3415, 3445		
16:25 – 16:35	休憩、企業紹介				2	

	パラレルセッション 4 (オンラインルーム 1) 座長: <b>Prof. Fauziah Ahmed</b> (Universiti Sains Malaysia, Malaysia)	パラレルセッション 5 (ATC 1 特別セッション) (オンラインルーム 2) 座長: 佐賀大学 教授 <b>柴 錦春</b>	パラレルセッション 6 (オンラインルーム 3) 座長: 九州大学 教授 <b>陳 光斉</b>	-	> 1 3456, 3462,
	特別講演 Ⅳ	特別講演 ∨	特別講演 VI		E, 74
16:35 – 17:00	Assessing Resilience for Sustainable Investment - An Insurance Perspective	地球温暖化防止に資するブルーカーボン政策への地盤工学的視点からの支援	Early Warning Practice for Shallow Landslides in Norway and Physical Modelling Strategies Supported by IoT Based Monitoring	表示 / 下配信)	レルセッツ 134, 3435, 344 8
	<b>Ms. Ester Calavia Garsaball</b> (Willis Towers Watson, U.K.)	九州大学 教授 杉村 佳寿	Prof. Vikas Thakur (Norwegian University of Science and Technology, Norway)	企業用ンディン	ドノバブ , 3417, 34 346
17:00 – 18:00	Paper IDs: 3385, 3440, 3453, 3464, 3475 Paper IDs: 3264, 3401, 3428, 3446, 3460 Paper IDs: 3156, 3393, 3397, 3		Paper IDs: 3156, 3393, 3397, 3426, 3471	大	399
18:00 – 18:15	休憩、企業紹介			3	92,3
	基調講演 会場:ウェブコンサートホール				\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
	座長: <b>Prof. San-Shyan Lin</b> (National Taiwan Ocean University, Taiwan)				perl
18:15- 18:45	Microbial-Induced Calcite Precipitation as an Erosion Prevention Method  Dr. Stuart Kenneth Haigh (University of Cambridge, UK)				Pa

時間	2021年3月10日(水)				
	(オ	ラレルセッション 7 ンラインルーム 1) 州大学 助教 古川 全太郎	パラレルセッション 8 (オンラインルーム 2) 座長: <b>Dr. Gabriele Chiaro</b>	パラレルセッション 9 (オンラインルーム 3) 座長: <b>Dr. Tri Harianto</b>	-
	-11-	でではかせ、此口に生みない。	(University of Canterbury, New Zealand)	(Hasanuddin University, Indonesia)	
8:35 – 9:00	若手研究者特別講演 I  Life Cycle Sustainability Assessment: A Tool for Research Prioritization and Project Decision Making		若手研究者特別講演 II  Characteristics of Re-liquefaction Behavior of the Typical Soils in Kumamoto - Aso area,  Japan	若手研究者特別講演 III  Slope Creep Instability in Krajang Lor Village, Magelang Regency, Central Java, Indonesia: Inducement and Developmental Prediction	
		s. Alena J. Raymond ry of California, Davis, USA)	<b>Dr. Guojun Liu</b> (Changshu Institute of Technology, China)	<b>Dr. Tran T. T. Thuy</b> (Project Management Unit of Construction Investment, Ho Chi Minh City, Vietnam)	
9:00 – 10:00	Paper IDs: 3	3222, 3389, 3430, 3455, 3459	Paper IDs: 3289, 3379, 3452, 3465, 3476	Paper IDs: 3287, 3362, 3431, 3450, 3470	(m)
10:00 – 10:15			休憩、企業紹介		追追
	プレナリー講演 & 基調講演 会場:ウェブコンサートホール		企業展示デーランド配信		
		座士	F: Prof. Sangseom Jeong (Yonsei University R	Korea)	金が
10:15 – 10:45	PL2		地震に伴う大規模な地すべり 東京大学 名誉教授 <b>石原 研</b>		**************************************
10:45 – 11:15	KN8	7	大規模 CO2 地中貯留に向けたモニタリング 九州大学 教授 <b>辻 健</b>	システムの開発	Į.
11:15 – 11:30			休憩、企業紹介		1
	座長: 山口大学 教授 兵動 正幸				
11:30 – 12:00	The Method and Efficiency of Seismic Treatment of Loess Ground with Lignin  Prof. Lanmin Wang (Lanzhou Institute of Seismology, China)				
12:00 – 12:30	KN10	The Role of the Indonesian Society for Geotechnical Engineering in Supporting the Development of  KN10  Sustainable Earthquake-Resilience Infrastructure in Recent Years			
			of. Masyhur Irsyam (Bandung Institute of Tecl		
12:30 – 13:30			休憩、企業紹介		

	パラレルセッション 10 (オンラインルーム 1) 座長:名古屋大学 准教授 <b>中井 健太郎</b>	パラレルセッション 11 (ATC 1 特別セッション) (オンラインルーム 2) 座長: 東京大学 准教授 <b>清田 隆</b>	パラレルセッション 12 (オンラインルーム 3) 座長: <b>Dr. Arvind Jha</b> (Indian Institute of Technology Patna, India)		
	特別講演 VII	特別講演 VIII	特別講演 IX		7
13:30 – 13:55	Application and Feedback Analysis for The Freeway Slope Maintenance Management System in Taiwan	A Regional-Scale Analysis Based on a Combined Method for Rainfall-Induced Landslides and Debris Flows	Performance Monitoring and Analysis for a Bridge Under Extreme Scouring and Flooding	(里)	ション・
	<b>Prof. San-Shyan Lin</b> (National Taiwan Ocean University, Taiwan)	Prof. Sangseom Jeong (Yonsei University, South Korea)	<b>Dr. Wei Feng Lee</b> (Ground Master Construction Co., Ltd., Taiwan)	と マンド配	ラレルセ
13:55 – 14:55	Paper IDs: 3176, 3290, 3398, 3405, 3419	Paper IDs: 3382, 3394, 3403, 3469, 3474	Paper IDs: 3165, 3390, 3444, 3449, 3458	金产	%
14:55 – 15:05		休憩、企業紹介		7	7
	特別	リプロジェクト(九州大学プログレス 100)	の報告		1
<b>15:05 – 15:35</b>	座長: <b>Dr. Rolando P. Orense</b> (University of Auckland, New Zealand)				*
	タイヤの	)カスケードリサイクルを用いた持続可能 -地盤工学の観点から気候変動の適応策 九州大学 教授 <b>ハザリカ ヘマンタ</b>			
15:35 – 15:45		休憩、企業紹介			

	パラレルセッション 13 (オンラインルーム 1) 座長: 山口大学 准教授 <b>吉本 憲正</b>	パラレルセッション 14 (オンラインルーム 2) 座長: <b>Dr. Yi He</b> (Southwest Jiaotong University, China)	パラレルセッション 15 (オンラインルーム 3) 座長: <b>Dr. Suman Manandhar</b> (Global Institute for Interdisciplinary Studies, Nepal)	言) ッション 2 , 2160, 2251,	
	特別講演X	特別講演 XI	特別講演 XII	200 年 500 日	
15:45 – 16:10	Quantitative and Qualitative Flood Risk Assessment in Huế City in Vietnam	Effect of Vessel Waves on Riverbank Erosion: A Case Study of Mekong Riverbanks, Southern Vietnam	Appropriate Technology for Landslide and Debris Flow Mitigation in Thailand	企業展示 デマンド パラレル 136, 2107, 28, 3244, 33	
	<b>Prof. Manzul Kumar Hazarika</b> (Asian Institute of Technology, Thailand)	Dr. Bui Trong Vinh (Ho Chi Minh City University of Technology, Vietnam)	<b>Dr. Suttisak Soralump</b> (Kasetsart University, Thailand)	(オン) マンド S:1118,1	
16:10 – 17:10	Paper IDs: 3391, 3420, 3424, 3427, 3472	Paper IDs: 3381, 3387, 3395, 3404, 3423	Paper IDs: 3386, 3411, 3413, 3416, 3422	i ya Mara	
17:10- 17:20		休憩、企業紹介		₹ ag	
		閉会式(会場:ウェブコンサ	ートホール)		
		表彰式:			
		CREST2020 副実行委員長・茨城大学名誉			
17:20 - 18:20		CREST2020 実行委員長・九州大学教授 バ	ヘザリカ ヘマンタ		
	閉会・謝辞:				
	CREST2020 副実行委員長・茨城大学名誉教授 <b>安原 一哉</b> 前国際地盤工学会副会長 ・関東学院大学特任教授 <b>東畑 郁生</b>				
	CREST2020 実行委員長・九州大学教授 ハザリカ ヘマンタ				

## ポストシンポジウムワークショップ

## 2011 年東日本大震災特別ワークショップー震災から 10 年一

時間	2021 年 3 月 11 日 (木)		
	パラレルワークショップ 1	パラレルワークショップ 2	パラレルワークショップ 3
	(オンラインルーム 1)	(オンラインルーム 2)	(オンラインルーム 3)
	SDS 試験における地盤評価と	地震と豪雨による地盤災害および防災・	第7回木材活用地盤対策研究会ワークショッ
	液状化評価の現在と今後について	環境・メンテナンスに関する地盤技術	プ-地中に森をつくろう-
13:00 - 16:15			
	主催:ジャパンホームシールド株式会社、	主催: NPO 法人 応用斜面工学研究会	主催:木材活用地盤対策研究会
	日東精工株式会社	使用言語:日本語のみ	使用言語:日本語(英語の同時翻訳あり)
	使用言語:日本語(一部英語)		

- **◆CREST 2020** の全セッションはオンラインで開催されます。
- →プレナリー講演、基調講演、特別講演時間には5分間の質疑応答も含みます。
- → 一般論文の ID は、各パラレルセッションに示されています。発表者のタイムゾーンや発表 テーマを考慮し、プログラムの準備に多くの努力が注がれています。そのため、著者は、 セッションと割り当てられた時間をしっかり守ってください。
- →一般論文向けのパラレルセッションはそれぞれ12分間で、プレゼンが9分間、質疑応答が3分間です。
- → オンデマンドセッションに関して、発表者は発表用のパワーポイントファイルを 2021 年 3 月 1 日までに実行委員会に提出してください。パワーポイントファイルは、セッション中に個別のリンクを通じストリーミングされます。
- →発表者向けの説明とセッションのリンクはまもなく送信されます。

最新情報は WWW.CREST2020.COM にアクセスいただくとご覧いただけます。

## **CREST 2020**



# 第1回 環境に配慮した持続可能な建設技術に関する国際シンポジウム

2021年3月9日~11日

会場

九州大学

(ウェブ会議)

主催

九州大学

共催

ケンブリッジ大学

国際地盤工学会 アジア地域技術委員会 ATC1 国際地盤工学会 技術委員会 TC302

### 後援

国土交通省 福岡県

福岡市

インド大使館

国連ハビタット 福岡本部

国際圧入学会

地盤工学会 九州支部

茨城大学 地球・地域環境共創機構(GLEC) 日本建設業連合会

### 実行委員長

九州大学教授 ハザリカ ヘマンタ

### 副実行委員長

ケンブリッジ大学 教授 S.P.G. Madabhushi 茨城大学名誉教授 安原 一哉 アジア工科大学 名誉教授 D.T. Bergado

幹事

株式会社ケイズラブ 代表取締役 河内 義文 Dr. Babloo Chaudhary, NIT Surathkal, India 地盤防災研究所 所長 藤白 隆司

### 問い合わせ先

九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門

ハザリカ ヘマンタ

e-mail: info@crest2020.com Website: https://crest2020.com/





## 九州大学





対象のSDGs



## 設立趣旨

過去数十年にわたって地球上で急激な開発行為 が展開された結果、気候変動やオゾン層の破 壊、大気汚染など様々なリスクが発生しており ます。また、旺盛な都市活動によって大量に資 源が消費された結果、天然資源が枯渇してきて おります。そこで、近年では、各方面において 環境に配慮した持続可能な社会の実現に向けた 取組みが活発化してきております。地盤工学の 分野においても、安価で、環境に優しい材料を 再利用して、信頼性と強靭性に優れた設計・施 工方法の開発が進んでおります。具体的には、 CO<sub>2</sub>排出量の削減や産業副産物の再利用に取り組 んでおります。特に、環境負荷の少ない材料を 再利用することは、建設に必要なエネルギーの 軽減が図られるため、気候変動に対応する有効 な手立ての1つとして注目されております。さ らに又、自然が持つ多機能性やしなやかな回復 能力などが期待できるグリーンインフラを、町 づくりに積極的に取り入れることが望まれてい ます。

## 達成目標

本シンポジウムは、地盤工学的見地から持続可能な社会を築くため、英知を結集して、自然災害や人災に関する諸問題について、解決策を見いだすことを目的としています。世界中の研究者、技術者、政策立案者が集まり、持続可能な社会を構築するための政策手段、新たな技術の開発、地盤構造物の設計・施工・維持管理などについて議論します。環境問題に利害関係のある産業界や国・地方公共団体、大学・研究機関の連携によって、地球が直面している諸問題に対して革新的な提言が採択されることを期待いたします。

## シンポジウムの形式

CREST 2020は2020年3月に開催される予定でしたが、新型コロナウィルスの影響によって延期となり、2021年3月の開催を決定しました。日本政府は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く福岡県を含めた11都府県を対象に緊急事態宣言を発令しました。コロナウィルス感染拡大防止のため、参加者の皆様及び関係者の安全安心を第一に考え、本シンポジウムの開催形式を現地開催+オンラインを併用したハイブリッド形式から完全オンライン形式に変更することといたしました。また、学生が積極的に参加するために、オンライン参加登録費用の再編成や学生の割引などが提供されます。

## テーマ

## 部門 I: 地盤工学におけるカスケード利用及 びマテリアルリサイクル

- ◇ 低コスト及び低炭素の建設技術
- ◇ 地盤構造物におけるリサイクル材料(代替地盤材料)
- ◇ リサイクル材料の力学的な性質および構成則
- ◇ 災害廃棄物の管理及び再利用

### 部門Ⅱ: 自然災害とレジリエンシー

- ◇ 気候変動に起因した自然災害
- ◇ 気候変動に起因しない自然災害
- ◇ 災害軽減技術に関する模型実験及び数値解析モデ ル
- ◇ 情報技術(IoT, AI など)の活用による自然災害軽減対 策

### 部門皿: 気候変動への適応と技術革新

- ◇ 低カーボンフットプリントに向けた革新的な技術
- ◇ 持続可能な設計及び施工の革新的な事例
- ◇ 社会経済及び環境に配慮した持続可能な施工技術
- ◇ 地質学的及び水文学的な観点

## スケジュール

プログラム	日付
開会式、プレナリー講演、基調講演、特別 講演、パラレルセッション、ポスターセッ ション	2021年3月9日
プレナリー講演、基調講演、特別講演、パラレルセッション、特別プロジェクト報告、ポスターセッション、閉会式	2021年3月10日
ポストシンポジウムワークショップ 2011年東日本大震災特別ワークショップ -震災から10年-	2021年3月11日
ポストシンポジウムテクニカルツアー (朝倉市災害復旧現場)	中止

## 参加費

参加者カテゴリ	参加費
一般 (一日)*	30,000円
一般 (二日)*	50,000円
学生 (一又は二日)*	15,000円
ワークショップのみの参加**	3,000円

\*プロシーディングなしの場合は、1万円割引となります。
\*\*ワークショップのみ参加の場合、シンポジウムプロシーディングが含まれていません。

## 後接

















Kyushu Branch





出版社





## スポンサー企業

## ダイヤモンド













ゴールド

















株式会社ケー・エフ・シー





## スポンサー企業

## シルバー















## ブロンズ









Eight-Japan Engineering Consultants Inc.







カツラギ商事株式会社





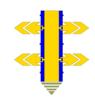


九州・アジア 地下空間フォーラム - 建設市場の縮小、国際化・高齢化社会に対応した。活力ある研究会を目指し









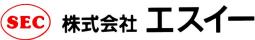
NIJ研究会

















東陽商事株式会社





